

<2019年度 ハローオリンピック事業>
オリンピック教室

実施報告書

福岡県 久留米市立屏水中学校



「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和元年5月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 2019年4月～2020年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 80校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目
運動の時間 (50分)



2時限目
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

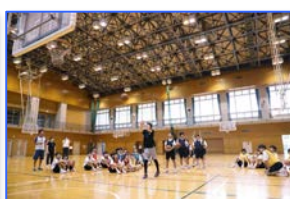
まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

実施内容

■期 日 : 2019年12月13日 (金)

■ク ラ ス : 2年1組 (37名)、2年3組 (36名)

■オリンピアン : 荻原 次晴 先生 (スキー/ノルディック複合) 【出場オリンピック/長野大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (1時限、3時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



・自己紹介後、東京2020大会まで残り何日かを問い掛け、皆にオリンピックをより身近に感じてもらいたいと話し、準備体操に移る。

2. 準備体操



3. 主運動



・8の字跳びを実施。



4. まとめ



・座学の時間では、頭を使ってオリンピックについて考えていきたいと話し、縄跳び開始時と同様に、同じチーム同士、また隣のチーム同士、お互いの健闘を称え合う意味で握手をし、授業終了。



■ 授業のながれ：座学の時間（2時限、4時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



・映像を見せながら、競技を始めたきっかけ等を説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



発問：①オリンピックバリューを感じる瞬間や出来事について書き出してみよう。（個人ワーク）
 ②「①」で書き出した意見を共有し、オリンピックバリューの中から1つ選び意見を書き出してみよう。（グループワーク）
 発表：「習い事を頑張る」「得点を決められるように努力した」「皆を笑顔にできるように努力する」「テスト勉強で頑張った時」(エクセレンス)
 「応援してもらった」「勉強を教えてもらった」「悲しい時に隣にいてくれた」「1人の頑張りをみんなで喜べた時」「協力できたこと」(フレンドシップ)
 「裏舞台で支えてくれた人に感謝」(リスペクト)

4. まとめ



・グループワークを通して、皆の心の中に既にオリンピックバリューが備わっていると感じた。久留米市には来年、ケニアとカザフスタンの選手団が事前キャンプに訪れる。他国から来た選手達を広い心で迎えてあげてほしいと伝え、授業終了。

実 施 内 容

■期 日 : 2019年12月13日 (金)

■ク ラ ス : 2年2組 (37名)

■オリンピアン : 橋 雅子 先生 (水泳/シンクロナイズドスイミング 現:水泳/アーティスティックスイミング) 【出場オリンピック/北京大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



・自己紹介後、オリンピックバリューの意味を説明し、今日はこれらを意識して取り組んでほしいと話し、準備運動に移る。

2. 準備体操



3. 主運動



・8の字跳びと全員跳びを実施。



4. まとめ



・運動の時間の中で、どういところがオリンピックバリューに当てはまるのかを考えながら、教室に戻ってほしい。
使った体の部位をしっかりストレッチするよう伝え、授業終了。



■ 授業のながれ：座学の時間（6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・映像を見せながら、アーティストックスイミングについて解説。
- ・自身の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- 発問：①日常生活や学校生活の中で感じたオリンピックバリュー、今後取り組みたいオリンピックバリューを書き出してみよう。（個人ワーク）
 ②個人で書いたことを班内で共有し、それを3つのオリンピックバリュー毎に書き出してみよう。（グループワーク）
- 発表：「最後まで諦めない」「今できることを全力で行う」「自分で挑戦したいことを見つけて全力で取り組みたい」「壁を越えられた時」(エクセレンス)
 「友達を大切にする」「皆で支え合うこと」「お年寄りの方への思いやり」「辛い時は励まし合う」(フレンドシップ)
 「家族や先生、友達、日常を支えてくれる人に感謝」(リスペクト)

4. まとめ



・話し合ったことを今後の日常生活の中に活かして欲しい。何かに全力で取り組むためには仲間との友情や絆が欠かせない。そして人への感謝を忘れないこと。今が当たり前ではなく、色々な人に支えられているから今の生活ができていないことを忘れないでほしい。皆の可能性は無限に広がっており、夢や目標がまだ見つからない人も、様々なことに挑戦することで夢が見つかるようになる。数年後に、このクラスから様々な分野で世界に羽ばたいてくれる人が出ることを期待していますと伝え、授業終了。

■ 記念品贈呈

2年1組



2年2組



■ 記念品贈呈
2年3組



■ 修了証贈呈

